

---

# 県西地域

---

---

## 55. リモート工場見学によるSDGs出前授業（株式会社デコリア）

### 取組の概要

お得意先でSDGsに積極的に取り組む(株)サンゲツ（名古屋）と(株)デコリアが協同で開催した取組。(株)サンゲツ本社の近隣小学校（名古屋市立名古屋小学校）の校外学習で(株)サンゲツショールーム見学と壁紙工場リモート工場見学を通して、地域企業・産業の学びとものづくりにおけるSDGsへの取組を学ぶ企画。



### 取組を始めた動機・課題

かながわSDGsパートナーとして活動している当社の取組をみて、(株)サンゲツ様から協力依頼を受けた。子どもたちでもわかる工場見学、リモートならではの利点と欠点を考慮し、現地にもスタッフを派遣してリアルな体験とコミュニケーションを意識した。

### 解決に向けた具体策と成果

生活の身近にある会社と商品を知ることで「働く」ことを学び、工場が取り組むSDGsを知ることによって環境への関心を高めることができた。また、2社のパートナーシップで子どもたちの学びの場を創出できた。

該当するSDGs目標  
(3つまで)



## 56. おきなわ&かながわSDGsパートナーのコラボ（株式会社デコリア）

### 取組の概要

おきなわSDGsパートナーの(株)サンゲツ沖縄とかながわSDGsパートナーの(株)デコリアがコラボレーションした取組。(株)サンゲツ沖縄が実施した沖縄県立石嶺児童園（児童養護施設）のリフォーム支援にかながわSDGsパートナーの当工場から生産時に発生する端材壁紙を提供した。



### 取組を始めた動機・課題

得意先である(株)サンゲツ沖縄がおきなわSDGsパートナー認定された報を受け、当社とコラボできないか？打診しZOOMミーティングを重ねて実現した取組。インテリア業界ができることを共に考え取り組んだコラボレーション企画。

### 解決に向けた具体策と成果

おきなわSDGsパートナーとかながわSDGsパートナーの県をまたいだSDGsパートナー同士のパートナーシップで取り組めた。

児童養護施設のリフォーム支援に加え、端材壁紙の再利用もできた。

該当するSDGs目標  
(3つまで)



## 57. アートで地域を盛り上げよう！（株式会社デコリア）

### 取組の概要

小田原フラワーガーデンのイベントを告知する看板を小田原城北工業高校デザイン科の生徒たちが製作。

看板の素材には(株)デコリアの端材壁紙を再利用した。出来上がった看板を最寄り駅である伊豆箱根鉄道大雄山線の飯田岡駅ホームに展示するという取組。



### 取組を始めた動機・課題

コロナ禍で発表の機会を失っていた高校生達に、活躍の場を与えてあげたいと地元企業3社が協力して企画した。今年で3年目3回目の実施となり恒例のイベントに成長している。

### 解決に向けた具体策と成果

デザイン製作を通してクライアントニーズを実現するプロセスを学ぶデザイナーの職業体験の場となった。また、イベントを通して地元企業の交流が生まれ地域活性化につながった。

該当するSDGs目標  
(3つまで)





## 58. ワークショップでリサイクル意識の啓発を（株式会社高部金属）

### 取組の概要

小学生の児童を対象に、飲料容器のリサイクルに関するワークショップを開催し、リサイクルとSDGsへの意識啓発を行ったことで、児童ならびに保護者のSDGsへの意識が高まった。



### 取組を始めた動機・課題

かつての活動よりも多くの方へリサイクルの意識啓発を行い、今後は積極的に分別を行ってもらえるよう取り組みを始めた。広く意識啓発を行うにあたり、複数箇所でワークショップを開催する為の場所の確保とより多くのワークショップ対象者の確保が課題であった。

### 解決に向けた具体策と成果

かながわSDGsパートナーへ登録している、株式会社明日葉様へ連携を申請、明日葉様の運営する学童施設にてワークショップを開催した。

課題であった開催場所・対象者の問題をクリアし、取組を行う事が出来た。

該当するSDGs目標  
(3つまで)



## 59. 体験型SDGs 「ボランティア塗装」 (ヤブタ塗料株式会社)

### 取組の概要

「ボランティア塗装」として、指導者と塗料を提供し、地域の生徒や児童、保護者にも参加してもらい、学校など公共性のある施設の塗り替えを行っています。「塗装＝ものを長持ちさせる」という説明と同時に、実際に楽しく経験してもらうことで、資源を大切にできる精神の啓蒙効果を強化しています。



### 取組を始めた動機・課題

ものを長持ちさせるには、塗料の力が必要。塗料業界として、SDGsへのこの大きな役割をしっかりと伝えたいと思い始めました。課題として、日常生活では、塗料の役割を認識しにくい点や資源や物を大切にする精神を本当に実感させることの難しさがありました。

### 解決に向けた具体策と成果

座学と同時に、実際に作業に携わることで、塗料による保護の仕組みを理解し、愛着をもって、ものを大切にする精神につなげた。さらに、参加してくれた児童・生徒には、使い捨てではなく、「塗り替えによって長く使うことができる」という発想も生まれる。

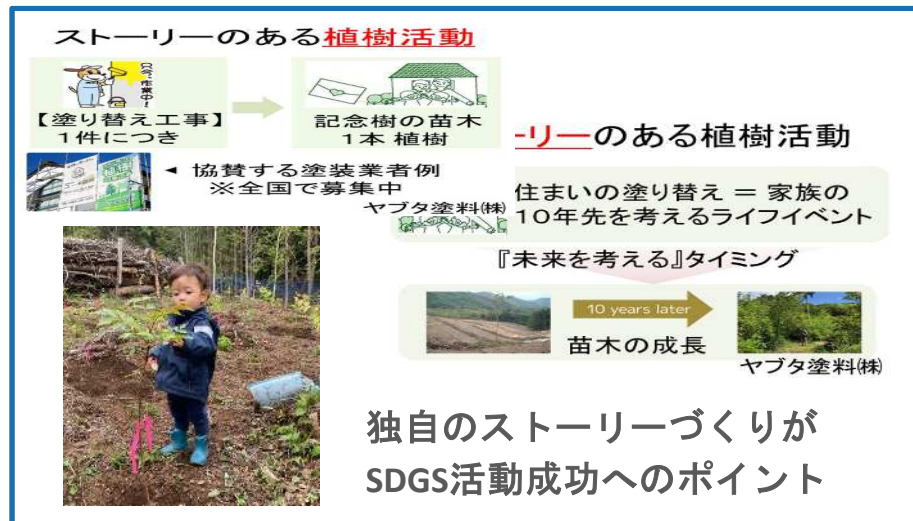
該当するSDGs目標  
(3つまで)



## 60. 塗料業界ならではのストーリーのある植樹活動（ヤブタ塗料株式会社）

### 取組の概要

住まいの塗り替え工事1件につき、記念として苗木を1本植樹。お施主様をオーナーとして証明書をプレゼント。想いに賛同を得て、全国の塗料販売店、塗装業者とともに活動。ただの植樹で終わらせず、業界ならではのタイミングや仕組みを考え、持続性・発展性・啓蒙性を担保しています。



### 取組を始めた動機・課題

塗料は、実は住まいの建材を保護することで環境保護につながっている。業界を代表して、環境保全活動への想いを伝えるため、「植樹活動」という形で取り組みを始めました。課題は、活動コスト（時間・費用）と植樹や苗木への思い入れの強化・啓蒙の難しさ。

### 解決に向けた具体策と成果

NPO法人の「プレゼントツリー」という仕組みを利用して経済活動と環境保全活動を両立。「家族の未来を考える」住まいの塗りかえのタイミングで植樹することで啓蒙活動につなげる。全国の販売店、塗装業者とともに活動することで発展性を確保。

該当するSDGs目標  
(3つまで)

